

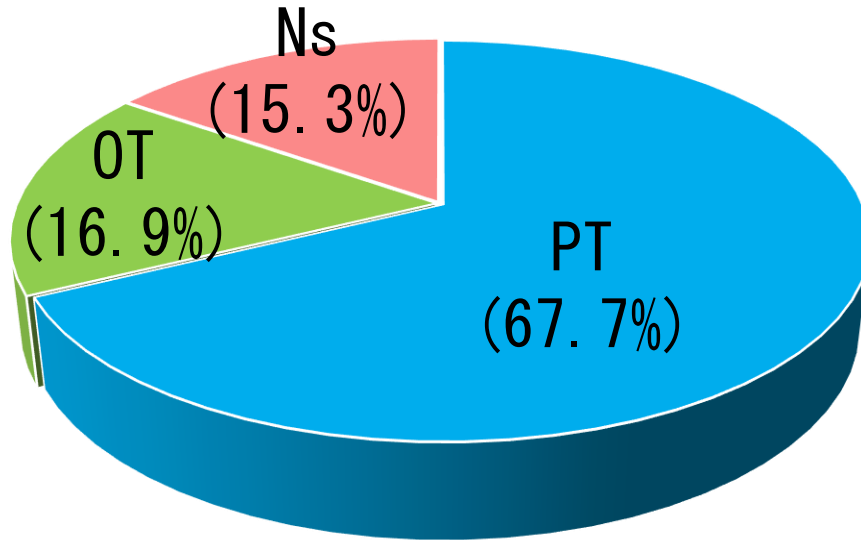
令和6年度  
学生アンケートのまとめ

アンケート実施期間  
令和6年11月1日～令和6年12月31日

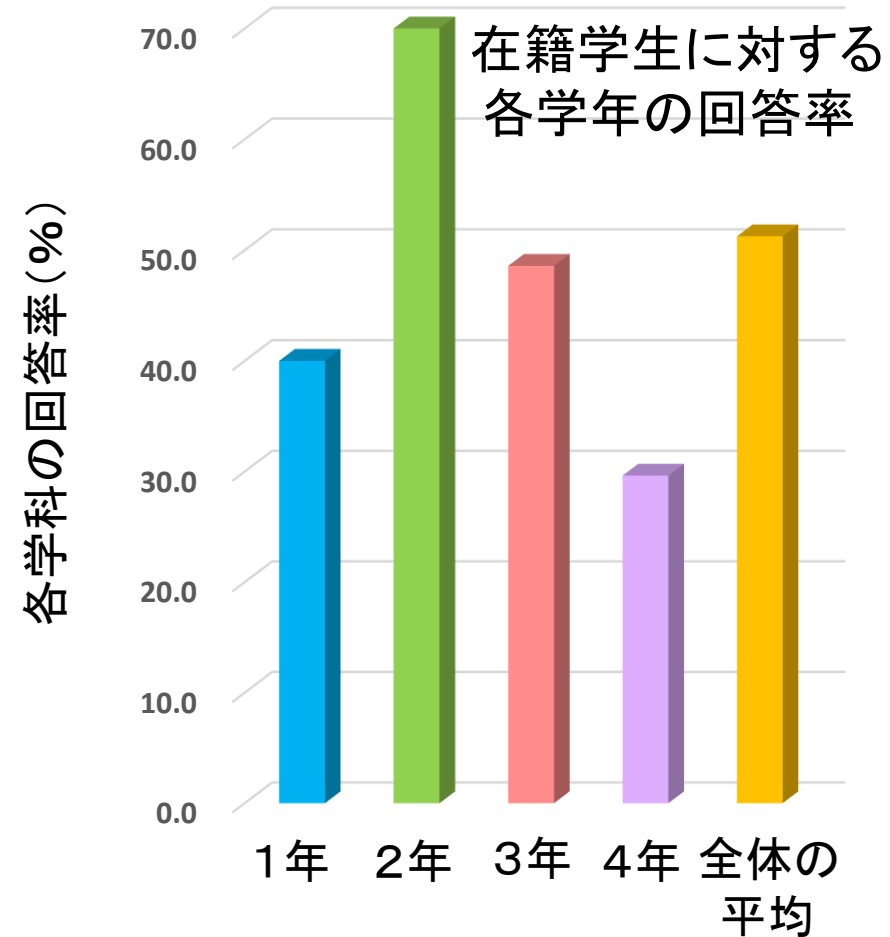
北都保健福祉専門学校

# Q 1. 学生アンケート回答者の内訳

全回答における3学科学生の割合



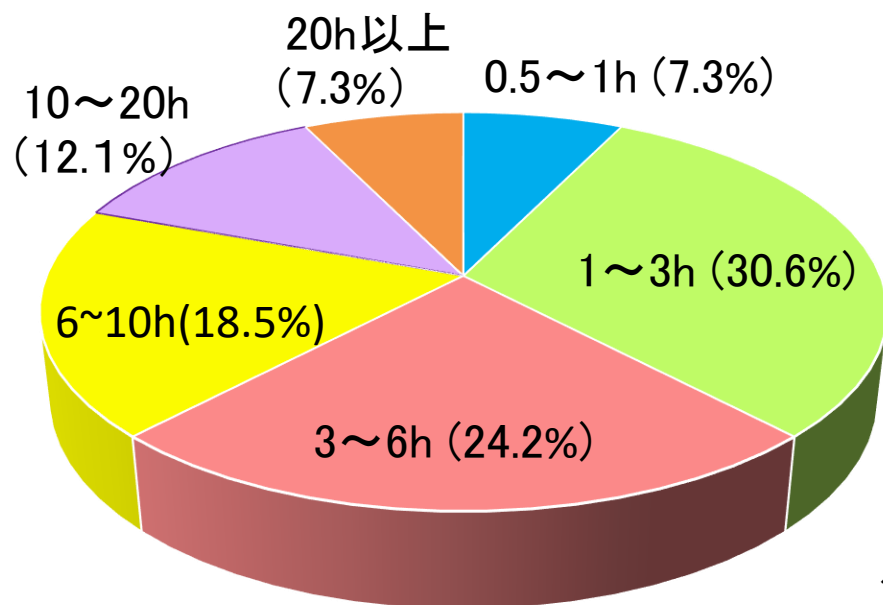
PT : 理学療法学科、OT : 作業療法学科、  
Ns : 看護学科



令和6年度のアンケート回答者の内訳をみると、Ns学生のアンケート回答率が例年の1/3以下と極めて少なかったため、PT学生の意見が強く反映された結果となった。学年別回答率の比較では、2年生が多く4年生が少ないアンケート回答率であった。それゆえ、今回はPT1~3年生の意見が色濃く反映した内容であったと考えられる。

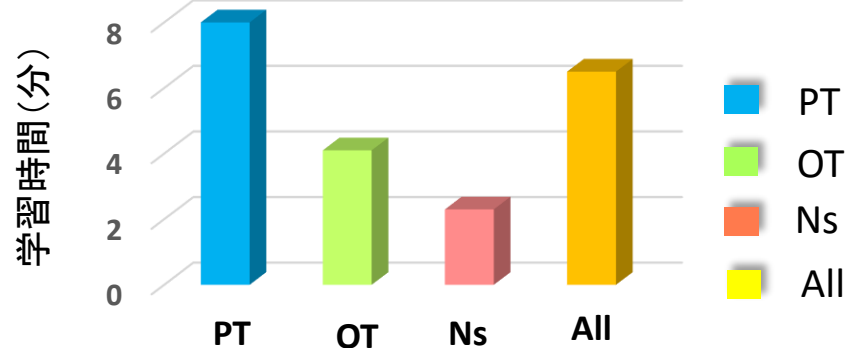
# Q 2. 定期試験のための自己学習時間は？

## 学生全体で見た自己学習時間の分布

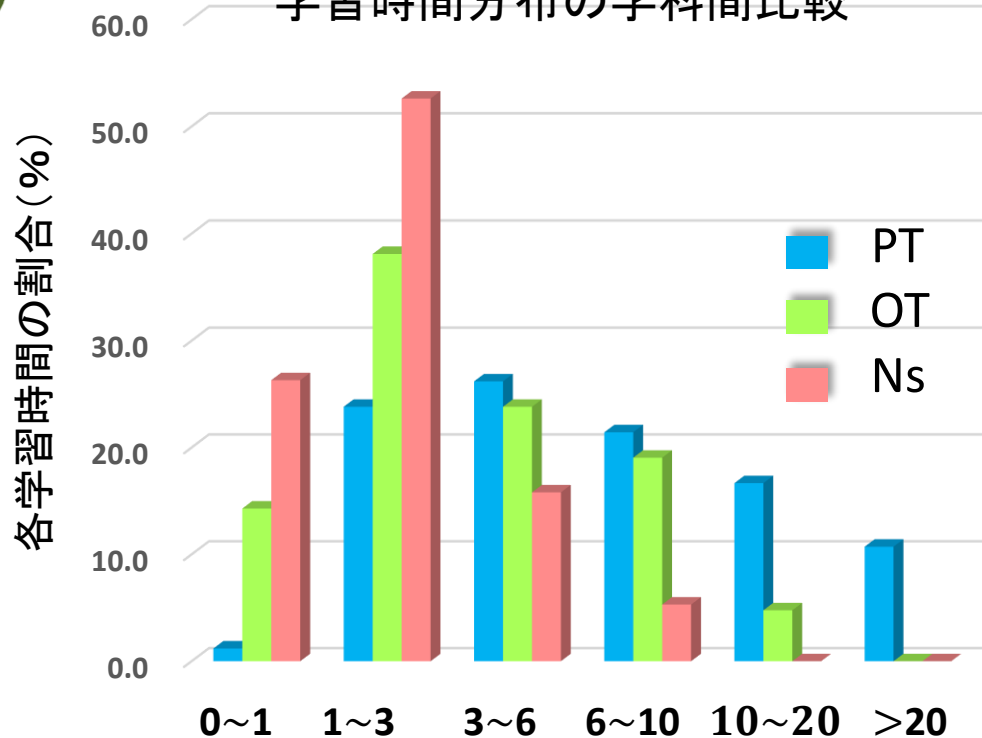


試験 1 科目あたりの平均学習時間は、学校全体では昨年度とほぼ同じであった（上図）。学習時間の学科間比較ではPT > OT > Nsの順となった（右図上）。学習時間の分布を見ても、PT学生がより多くの時間を学習にあてていることが明らかとなった（右図下）。Ns学生の学習時間を増やすことが、対策課題の一つ考えられる。

## 自己学習時間の学科間比較

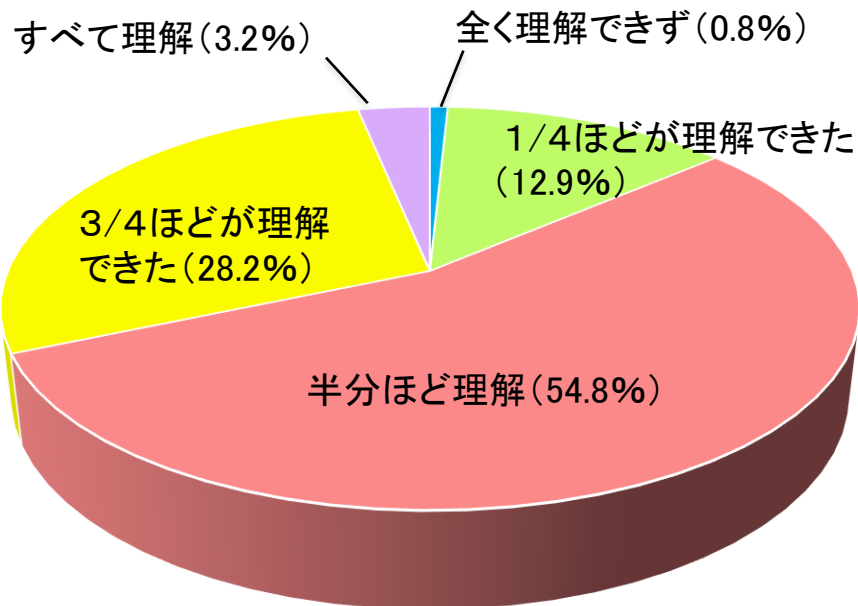


## 学習時間分布の学科間比較

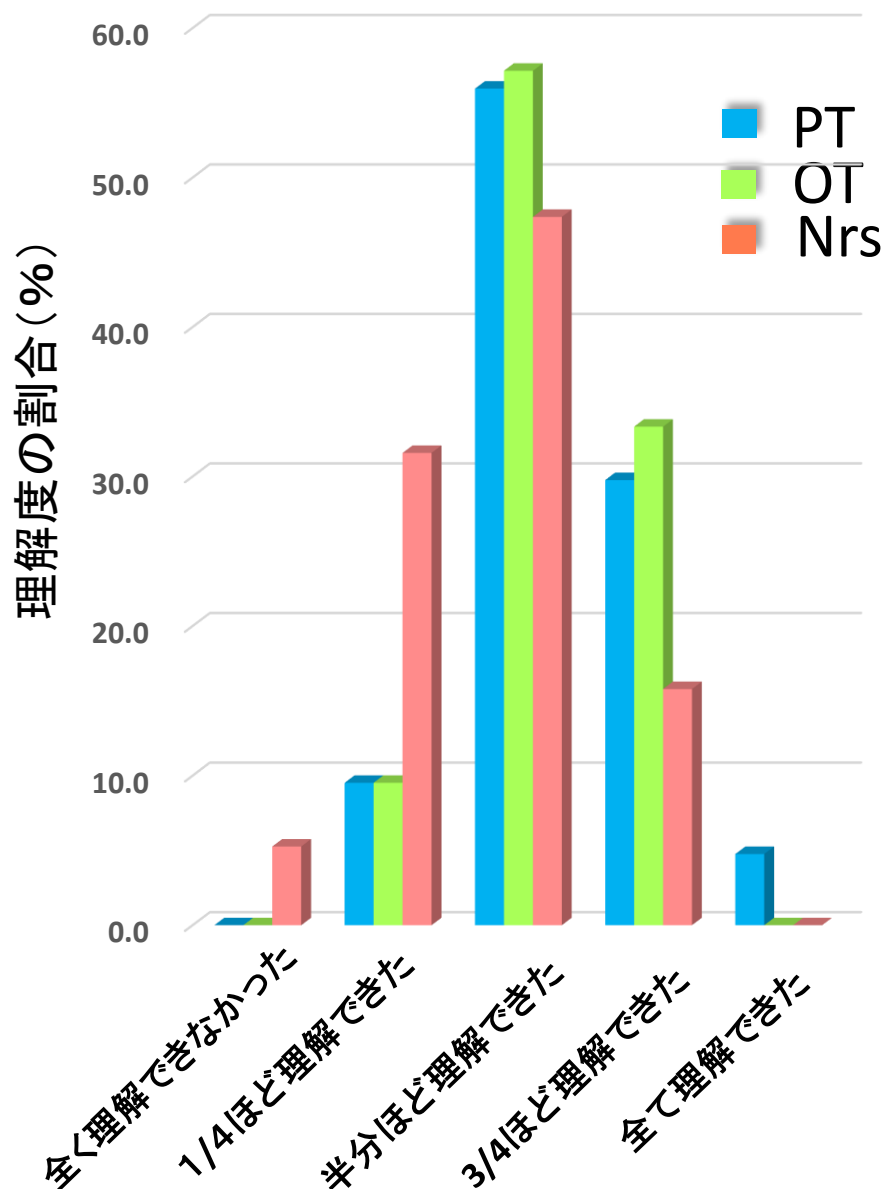


# Q 3. 授業内容はどれくらい理解できたか

## 学生全体の理解度の分布



## 理解度の学科間比較

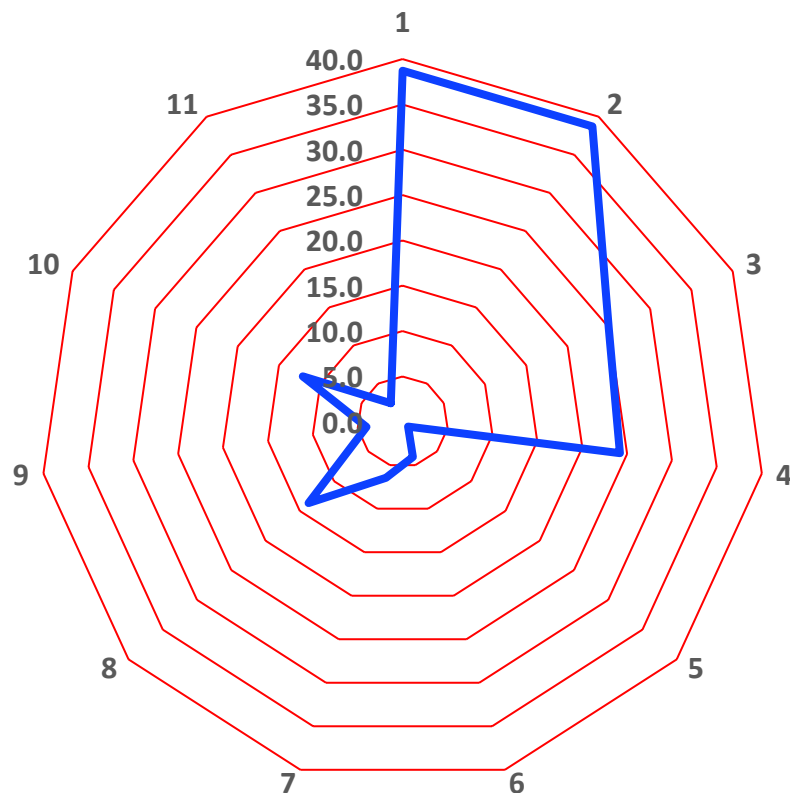


「授業の半分」や「それ以上」を理解できたとする学生は全体の82%ほどであり（上図）、学科間比較でも、それほど大きな差異はなかった（右図）。それゆえ、学生の理解度は望ましい状況にあると考えられる。ただ、「授業の3/4あるいは全てを理解できた」とする割合は31.4%ほどであり、昨年度とほぼ同じであった。実は、このようなレベルの理解ができる学生をもっと増やすことが必要であると考えている。初年次教育から個別指導や教員による授業改革を進めて行くべきであろう。

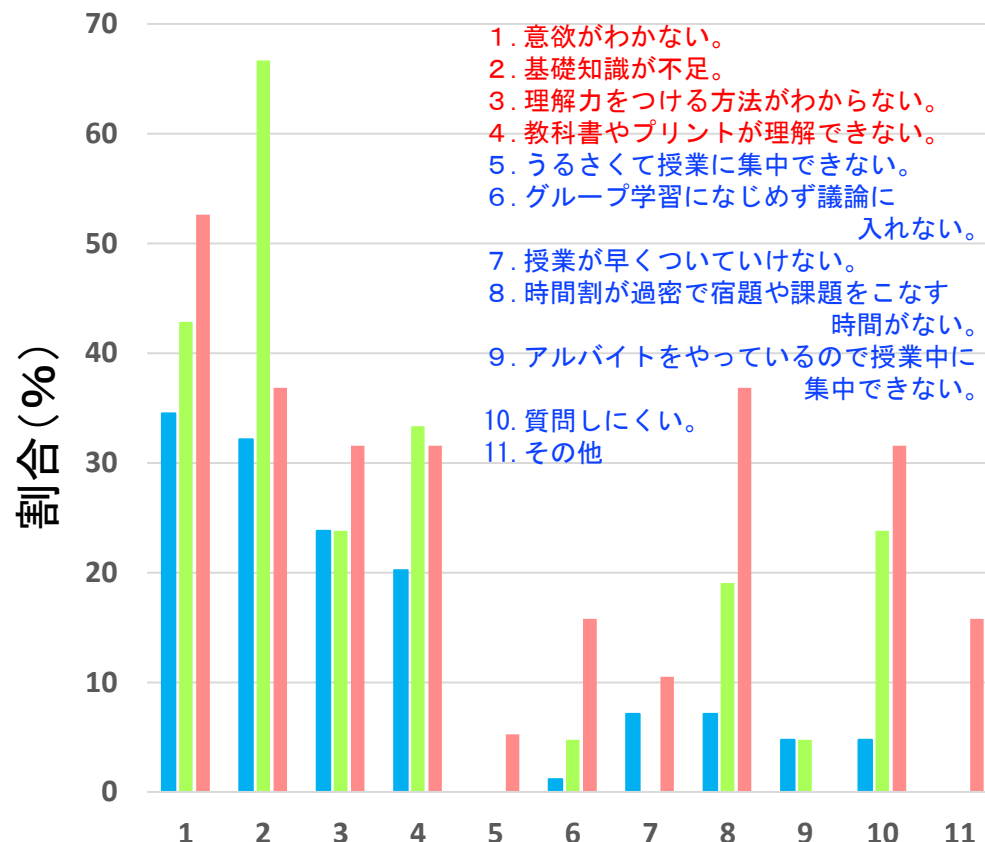
# Q 4-1. 理解不足の原因は何か

回答は複数選択

学生全体から見た原因



理解不足の要因の学科間比較



1. 意欲がわからない。
2. 基礎知識が不足。
3. 理解力をつける方法がわからない。
4. 教科書やプリントが理解できない。
5. うるさくて授業に集中できない。
6. グループ学習になじめず議論に入れない。
7. 授業が早くついていけない。
8. 時間割が過密で宿題や課題をこなす時間がない。
9. アルバイトをやっているので授業中に集中できない。
10. 質問しにくい。
11. その他

レーダーチャート（左図）から1～4の原因が大きな割合を占めていることは明らかである。学科別で見てもその傾向は顕著であり（右図）、OTやNsではさらに8や10が主な原因となっていた。それゆえ、理解不足を補うためには、「各授業の意義を学生に伝え学習内容への動機付けを行う」、「講義資料はわかり易く作成する」、「基本的な学力を補う補講や質問対応を丁寧に必要に応じておこなう」、「教科書やプリントをわかりやすくする」等が強化されるべき対応と考えられる。なお、図の番号は右上の項目を意味している。

## Q 4 - 2 . 授業が理解できた理由

### PT学生

毎日勉強してるから  
授業にしっかりと取り組めている気がする  
勉強が楽しいから  
大体のことは人に教えることができたから  
再(度)復習してるから  
授業プリントのわかりやすさ  
分からないところは先生に聞くようにしているため  
放課後などグループで学習して理解し合っているため  
放課後などに友達とグループ学習を行っているため  
分かりやすく教えてくれる  
先生方の説明が適切だったから  
内容を理解できてない言葉だけ  
元の知識が増えてきたから理解ができる  
先生の説明が丁寧でわかりやすいため  
資料がわかりやすいので、読んだら大体理解出来る  
分からないところは先生に聞いたりして理解が出来た  
授業内で講師の方が細かく説明して頂いた

### OT学生

わかりやすい人もいれば分かりにくい人もいる  
授業内で完結できるよう真面目に講義を受ける  
講師が詳しく話してくれるから  
友達と話し合うから

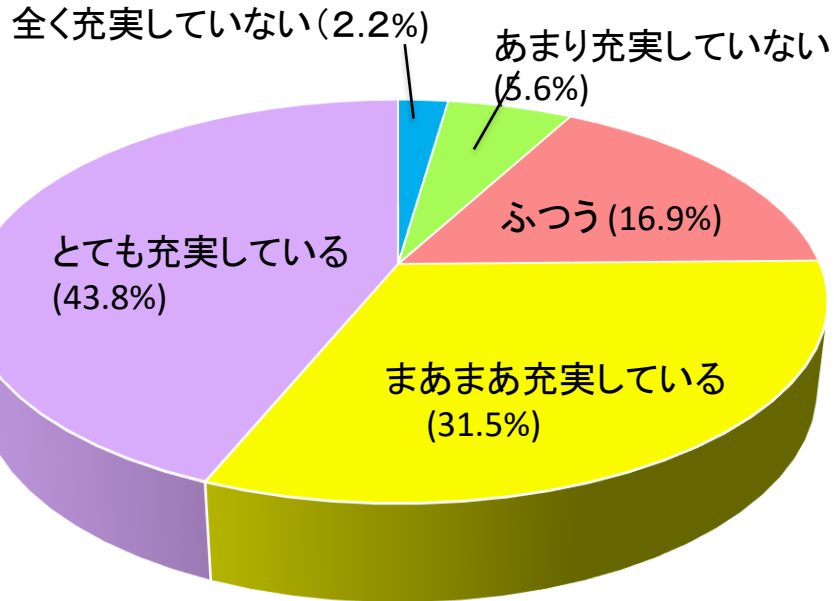
### Ns学生

記載なし

Q 3 でどの学科でも「半分以上理解できた」と回答した学生は80%ほどで存在していたので、ここには学生が理解できたと感じた具体的な理由（根拠）が記載されている。残念ながら、Nsの学生の回答者には具体的な理由を記載する学生がいなかった。

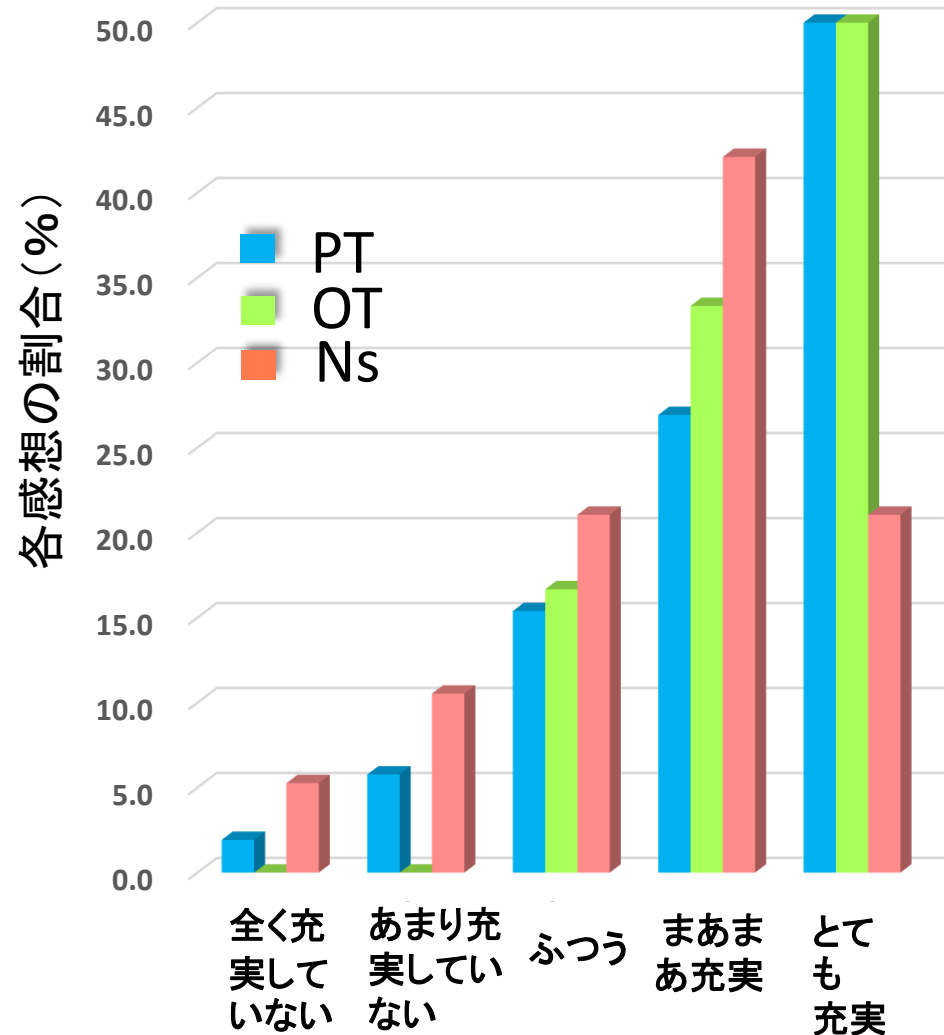
# Q 5. 学外実習はどのくらい充実していたか

## 学生全体の感想



臨床実習や臨地実習などの学外実習が「多少なりとも充実している」と感じた学生は全体の75%ほどであり、学科別ではOT > PT > Nsの順が多かった（上図）。特に、OT学生の充実度は高く、「多少なりとも充実していない」とする学生はいなかった（右図）。学外実習の履修で、それぞれの医療職の面白さを感じた学生が多かったためと推察される。

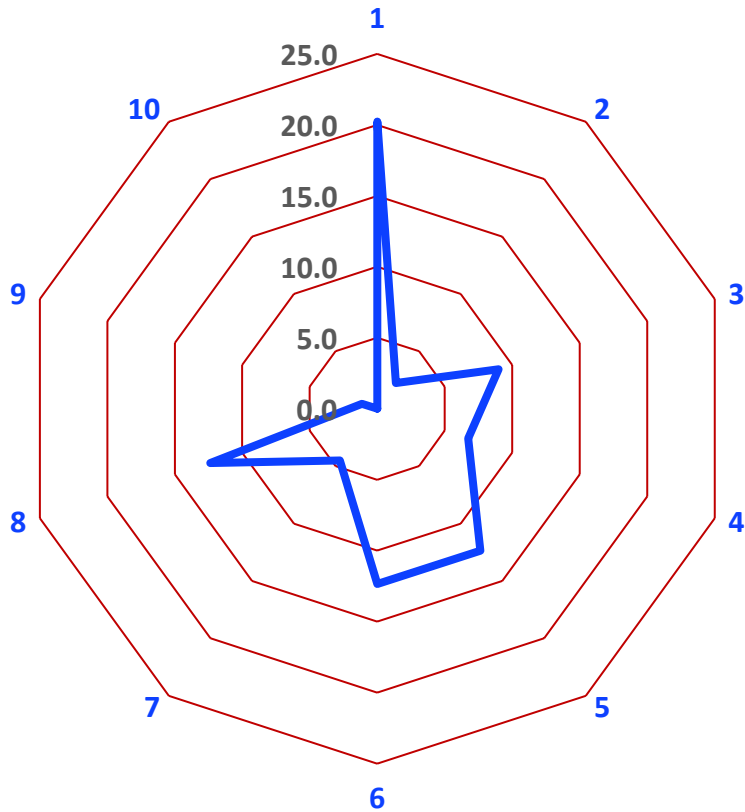
## 学科間の比較



# Q 6 - 1. 学外実習の充実不足の原因

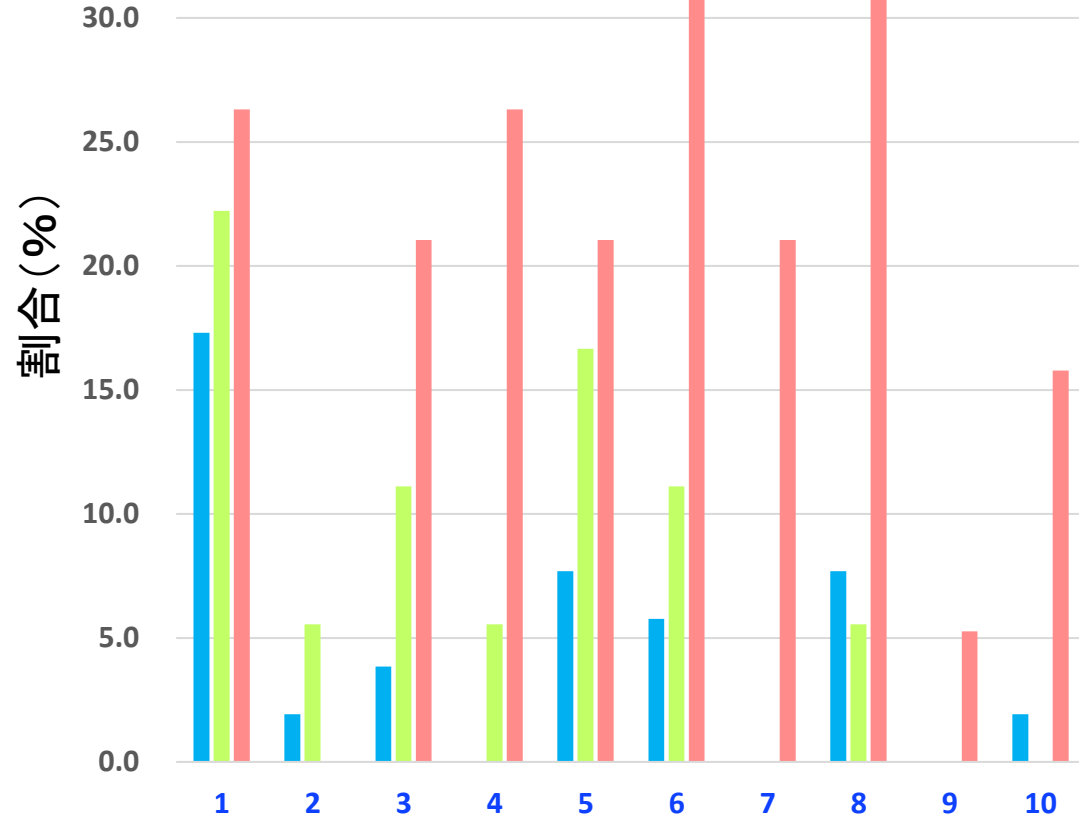
回答は  
複数選択

## 学生全体から見た原因



## 充実不足の原因の学科間比較

1. 病院の環境に緊張 2. 学内と病院の実習の違い 3. 実習中の指導が厳しい  
4. 教員のフォローアップが不十分 5. 自分自身の準備不足  
6. 実習計画をうまく立てられなかった 7. 実習中の課題レポートが多すぎた  
8. 実習期間の睡眠不足 9. 体調不足で実習に出席した 10. その他



レーダーチャート（左図）で全学生をみると、1、5、6、8の原因が大きな割合になっていた。学科別で見ると（右図）、PTでは1が、OTでは1と5が要因となっていた。Nsでは2や9以外がほぼ該当した。それゆえ、学科ごとに改善すべきポイントが大きく異なっていたため、今後の実習に対する改善点が示された内容となっている。なお、充実していなかった理由の欄には具体的コメントはなかった。



# Q 6 - 2 . 学外実習充実の理由

## PT学生

普段は体験できない貴重なことだから  
新しいことでとても新鮮であった  
病院の方が優しく色々教えてくれた  
PTの方から学ぶ事がとても多かったから。  
1年のうちからPTの仕事近くで見れて少し実感できた  
現場を近いところから見れて自分が働く場所のイメージがより明確になったから  
学校では経験できないことを経験できたから  
実際にptが働いている姿をみて、がんばろうと改めて思えるから  
新しいことを多く学べた  
実際の仕事を身近に見ることができた  
学びが多く新たな発見があった  
学べる事はあった  
新たな知識や考え方を教えてもらえる  
バイザー様に恵まれた  
ストレスフリーで楽しく自分の学びを深めることが出来たから  
わかりやすい説明  
学校では学べないことが学べる、実際の患者様に触れることができる  
学校では学べないことも学べるため  
指導者の先生が学生に向き合ってくれるため課題点を克服するために何が  
必要か一緒に考えてくれたり、知識面なら学校の教科書だけで足りないものは先生の教科書を貸してくれたから。  
自分に足りないものが見つかる  
アドバイスや実際に患者様をみることで基礎知識や技術が向上したこと  
環境もよくて、指導者さんもいい人達が多かったからすごく充実していた  
実際の現場を体験することで学校だけでは学べないことも学び理解が深まった  
学校よりも学べること事が多く、自分の成長に繋がったと感じたため  
担当バイザーや患者、利用者と良好な関係性を構築できた。  
いいバイザーに出逢えた  
実際に患者様と関わり、退院後の生活を見据えて治療立案を行うことができたから

## OT学生

実際に働いている場面を見れて、自分に足りない部分を感じる  
ことができたから。  
生の患者さんとの触れ合いがあって、色んなことを知ることが  
できたから  
学校では学べないことを学ぶことが出来たため。  
・指導者の方が見学・模倣・実施の順で実習を進めてくださった  
・学生とコミュニケーションが多く取れていた  
授業とは全く違う実際の臨床現場での患者さんと関わる機会  
は学校では無いため。  
実際に臨床の現場で自分の目で見ると学校では学べないこと  
を沢山学べました。知識だけでなく手技なども学校で学んだこと  
と照らし合わせながら答え合わせができます  
自分から行動できたため

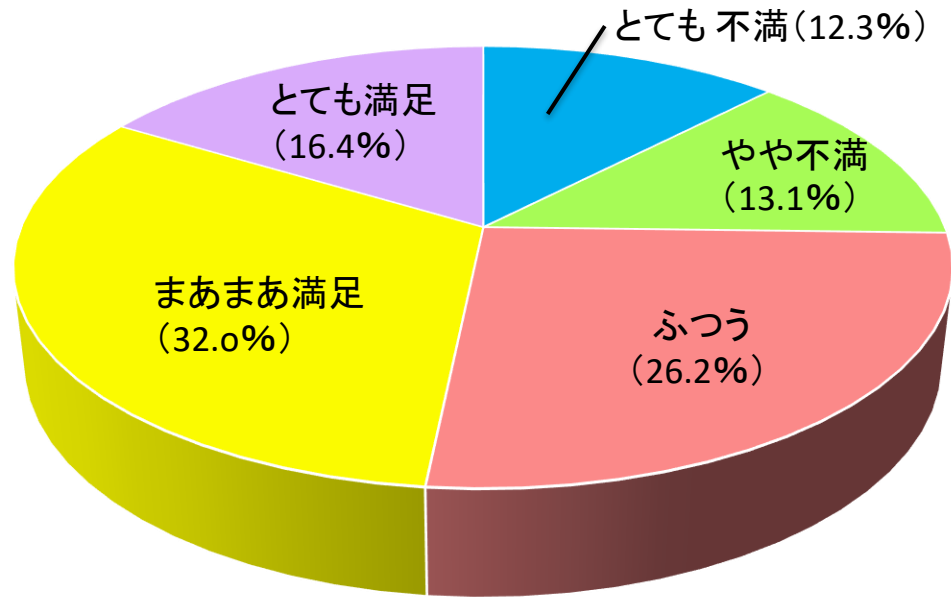
## Ns学生

先生の指導がとても充実するものだった  
一つ一つの援助に対して、なぜそれを行うのか明確にする指導  
を受けつつ行えたのが良かった。  
ただのルーチンワークにならずに根拠を持って援助を行うことが  
できたため。  
実際に病院に行ってみないとわからないことが分かったから。  
担当教員ができてるところをしっかりと見てくれていて、褒めてく  
れたことで、自信がついたからです。  
実習での先生方の報連相が出来ていなかったためこっちが評価  
を下げられた。

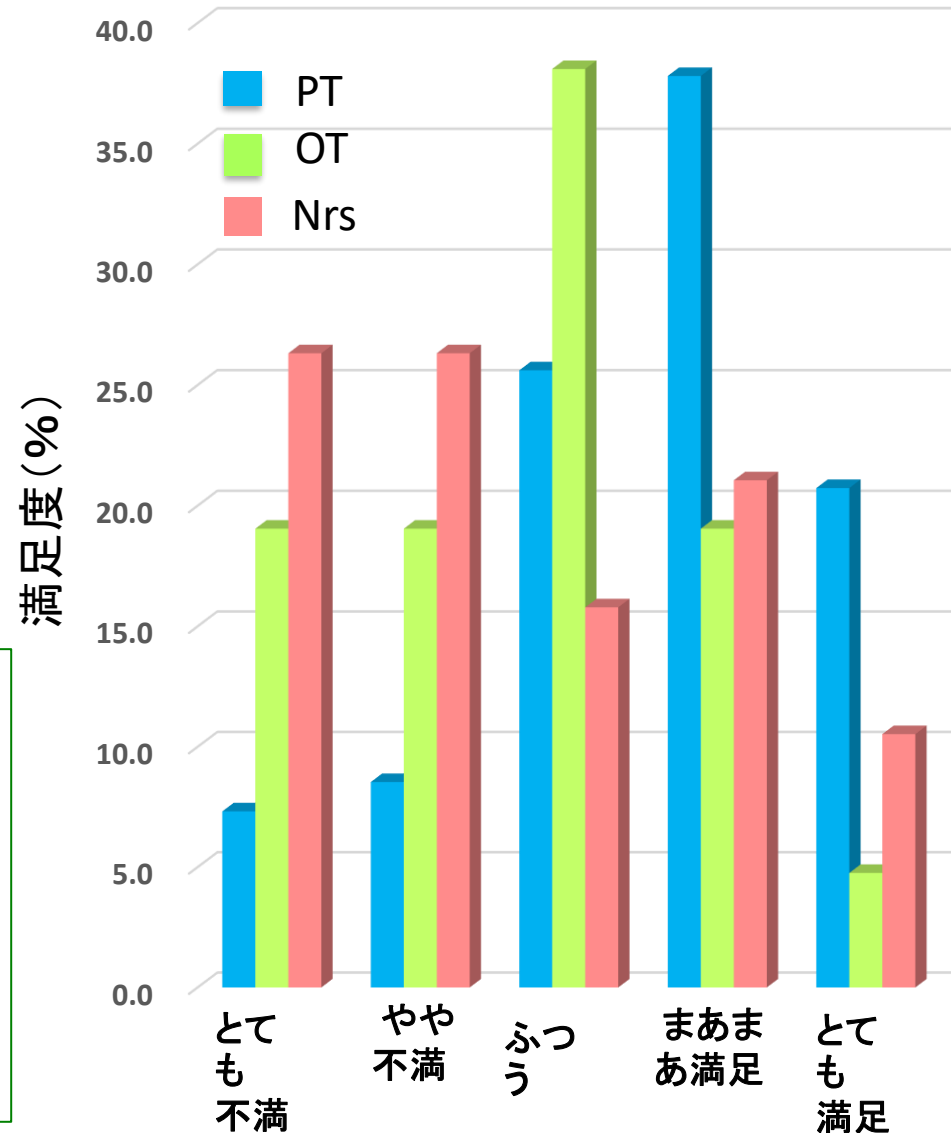
Q 5 で 7 5 % ほどの学生は「実習が多少なりとも充実していた」と回答した。「充実していなかった理由」が一件記載されている（青色の記載）。

# Q7. 教員に対する満足度はどの程度か

## 学生の満足度



## 学科間の比較

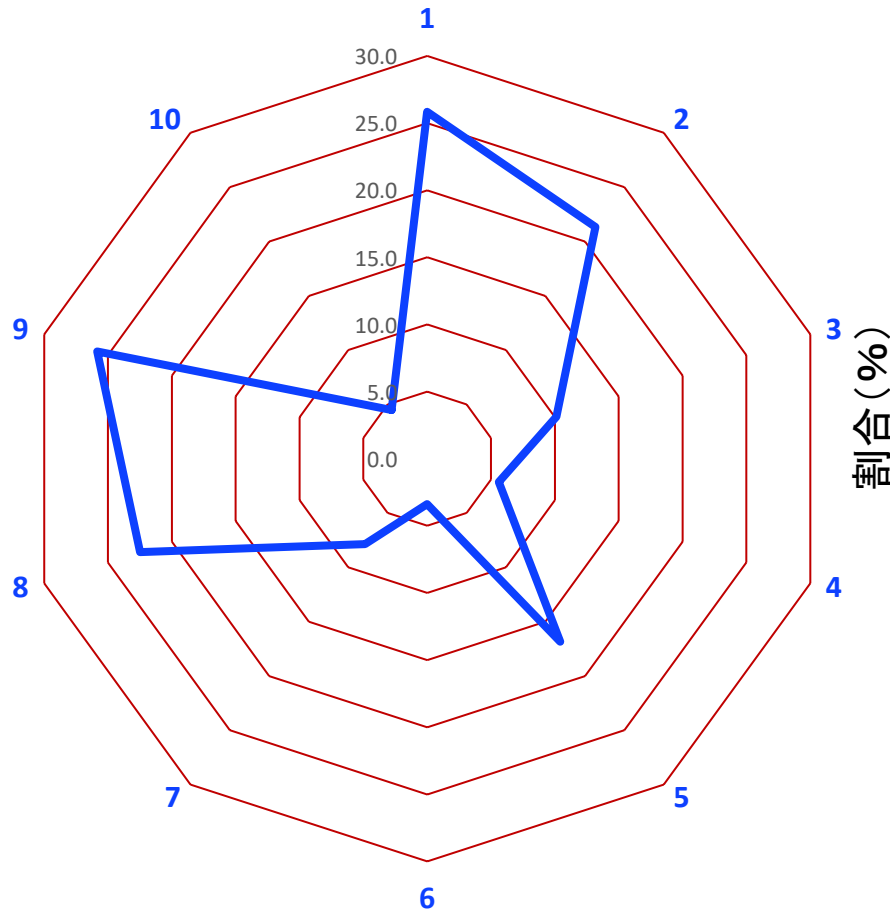


教員に対する学生の満足度については、「多少なりとも満足」という回答の合計が48.4%であり（上図）、全体的に見ると、昨年度とほぼ同じであった。しかし、「やや不満」が減り、「とても不満」が5.6倍に増えていた。学科間比較でみると、満足度の高い順からPT>OT>Nrsという傾向が認められた（右図）。今後は、不満に繋がった原因解消を目指して取り組んでいきたい。

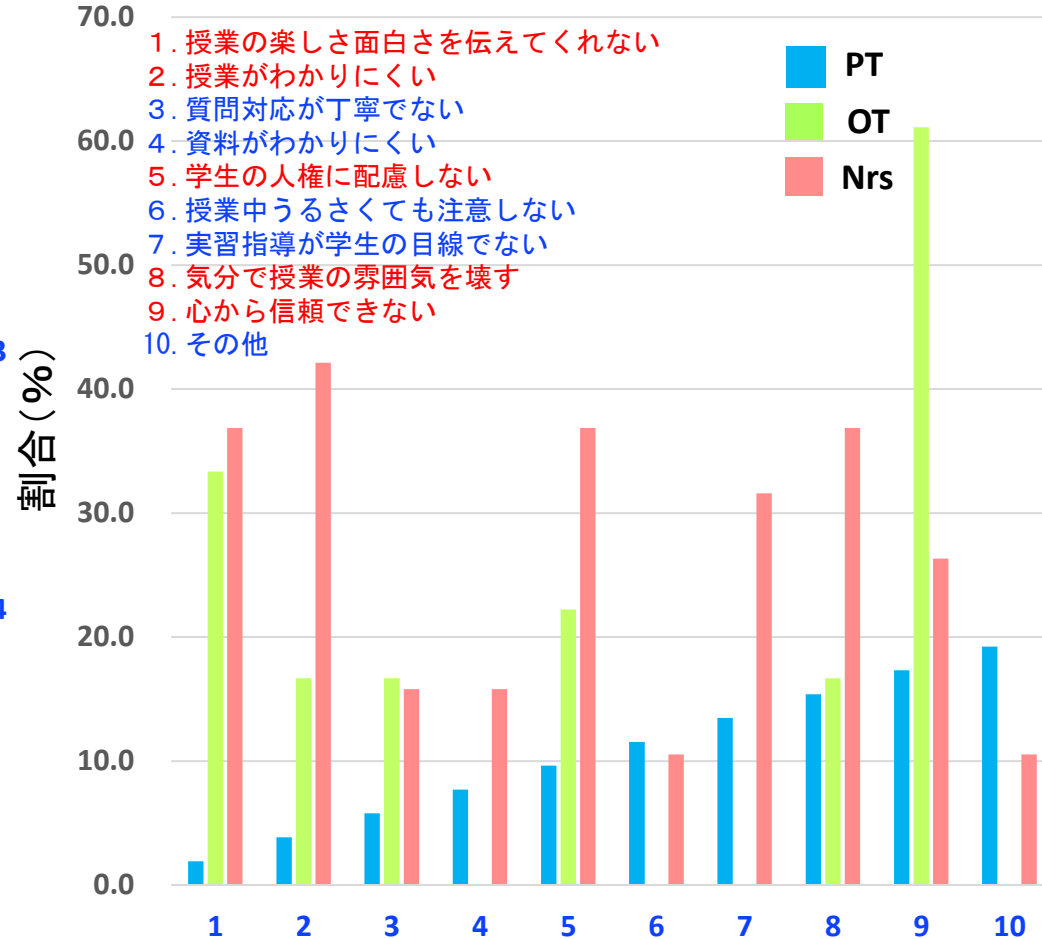
# Q 8 - 1 . 教員に対する不満の原因

回答は複数選択

## 学生全体の不満原因



## 不満原因の学科間比較



学校全体では、1、2、5、8、9が不満の要因であった（左図）。学科間比較で見ると（右図）、PTではあまり強い原因はなかったが、6～10がやや多かった。OTでは9が圧倒的であったが、4、6、7、10以外には少ないなりに不満の原因となっていた。Nrsでは1、2、5、7、8、9が不満の要因となっていた。それゆえ、まだまだ3学科それぞれにしっかりと取り組まなければならないことが課題として存在していたと判断される。また、Q 8 - 2には具体的意見がなかった。

# Q 8 - 2. 教員に対する満足度の理由

## PT学生

話しやすいため

みんな話しやすい

授業以外でも熱心に教えて頂けるから

分からないところで聞いたことが的確に返ってくるから

わからないところも、わかるでしょ？っていういで進められると質問しづらい

生徒目線で教えてくれる

話しかけやすい

話しやすい

先生によるが、学生に向き合ってくれる先生の方が多いと思う。

聞けばしっかり対応してくれる

距離感が近く話しやすいため。

面白いし熱心に教えてくれる

生徒に親身になって接してくれる

親身になってくれる

みんないい人

色々教えてくれるか、

親しみやすく優しいから

授業を聞く分では問題ないが、特定の学生達と仲が良い先生もいて授業でわからないことがあっても質問しに行きづらい。学生のことをよく見ている先生が殆どで、定期的に様子やお話を聞いてくれたり相談に乗ってくれるから。

実習中や授業外でとてもお世話になっている

授業も分かりやすく、何時でも丁寧に教えてくれるため

分からないところは理解出来るまで手伝ってくれる。

不安や知識の面など寄り添いながら丁寧に指導して頂けた

相談をしやすい環境にある

親身に話を聞いてくれて、勉強面でも人間的にもためになるから

## OT学生

話を聞いてくれる

教員自身の学生時代のエピソードなど、体験談のような話を聞けるから

## Nrs学生

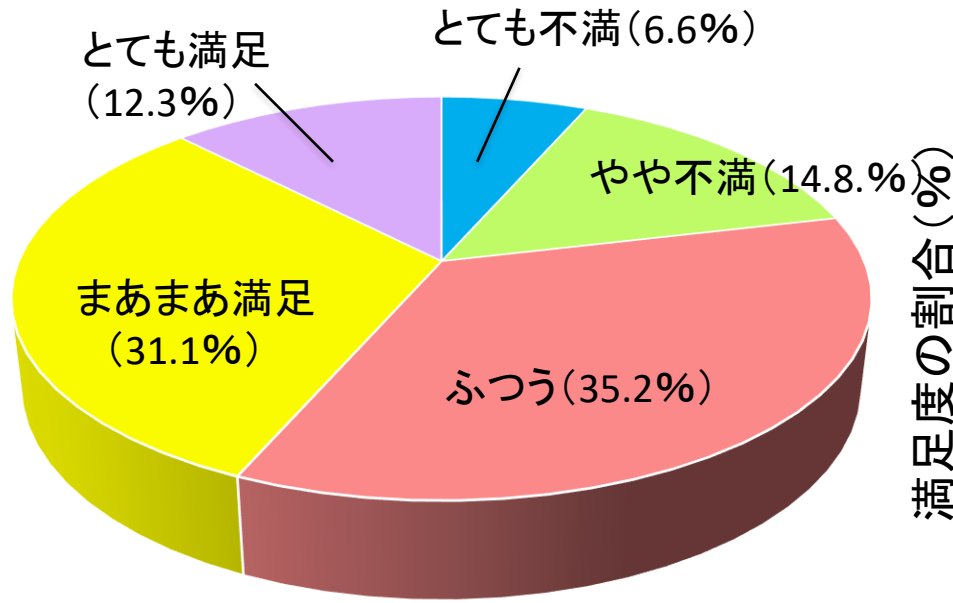
こちらが学びたいときにはいくらでも力を貸してくれると感じる

マンツーマンで教えてくれる時などきちんと生徒のことを考えて教えてくれるから

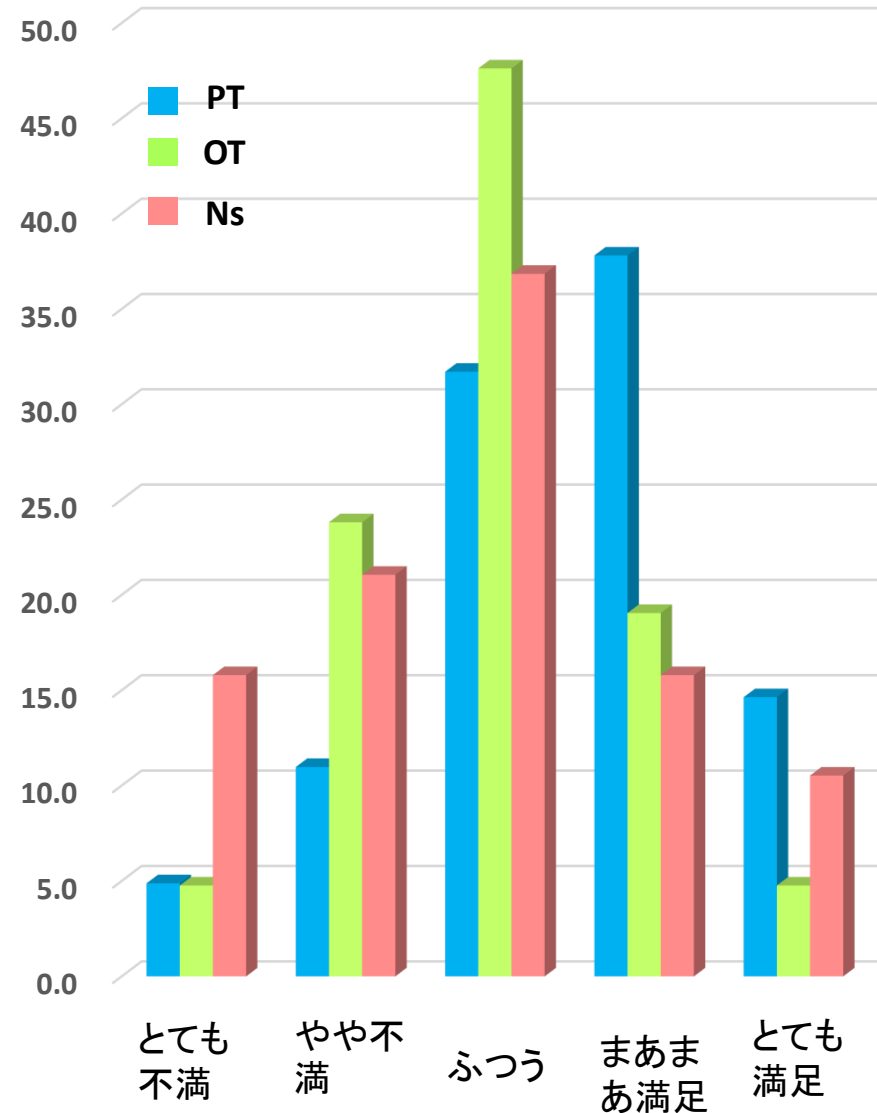
Q 7では、48.4%ほどの学生は教員に対して「多少なりとも満足していた」と回答している。学外実習に対する満足度が多少低いことから、満足に感じる学生の理由が若干少なかったと考えられる。ただ、満足と不満足の原因がミラーイメージのようになることがあるため、学生自身の受け止め方の違いがこの種の質問に反映してしまったと考えられる。今後は、学生個人の特徴を理解して、より細やかな対応をすべきと考えられる。不満の理由は青字で記載されている。

# Q9. 本校の学習環境はどうであったか

## 学習環境に対する満足度



## 満足度の学科間比較

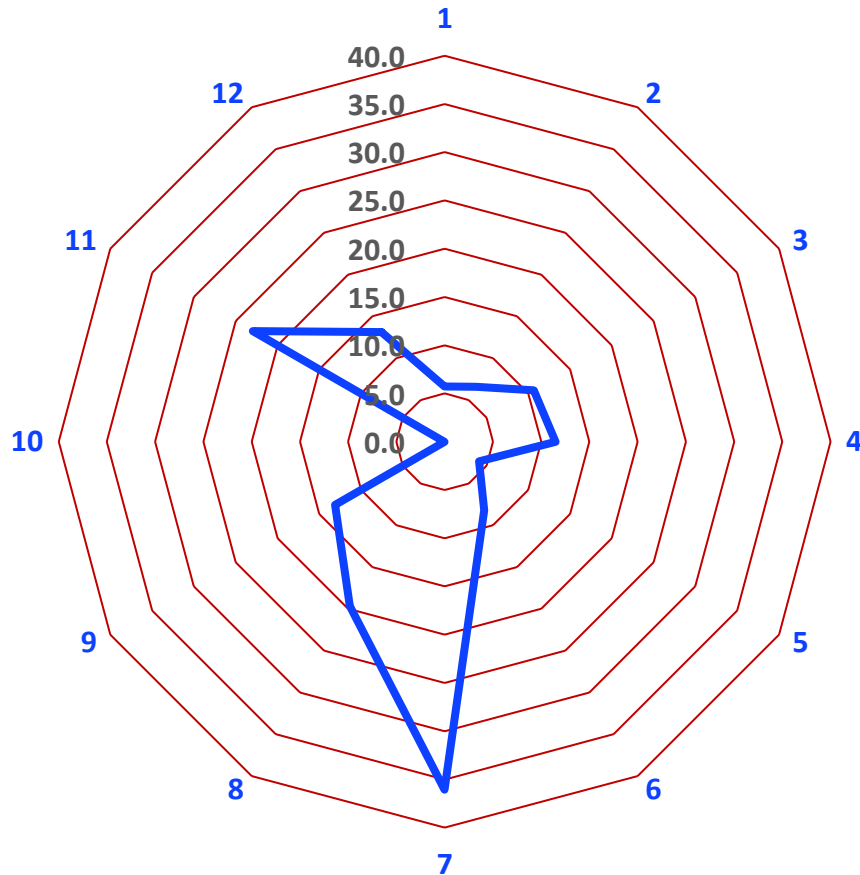


昨年度対比で見ると、「とても満足」＋「まあまあ満足」の合計がほぼ同じ割合であった（上図）。また、「ふつう」と「やや不満」もほぼ同じであった。しかし、「とても満足」と「やや不満」が共に増えたため、学科間の比較図（右図）では、グラフが左右に広がったようなパターンとして認められる。

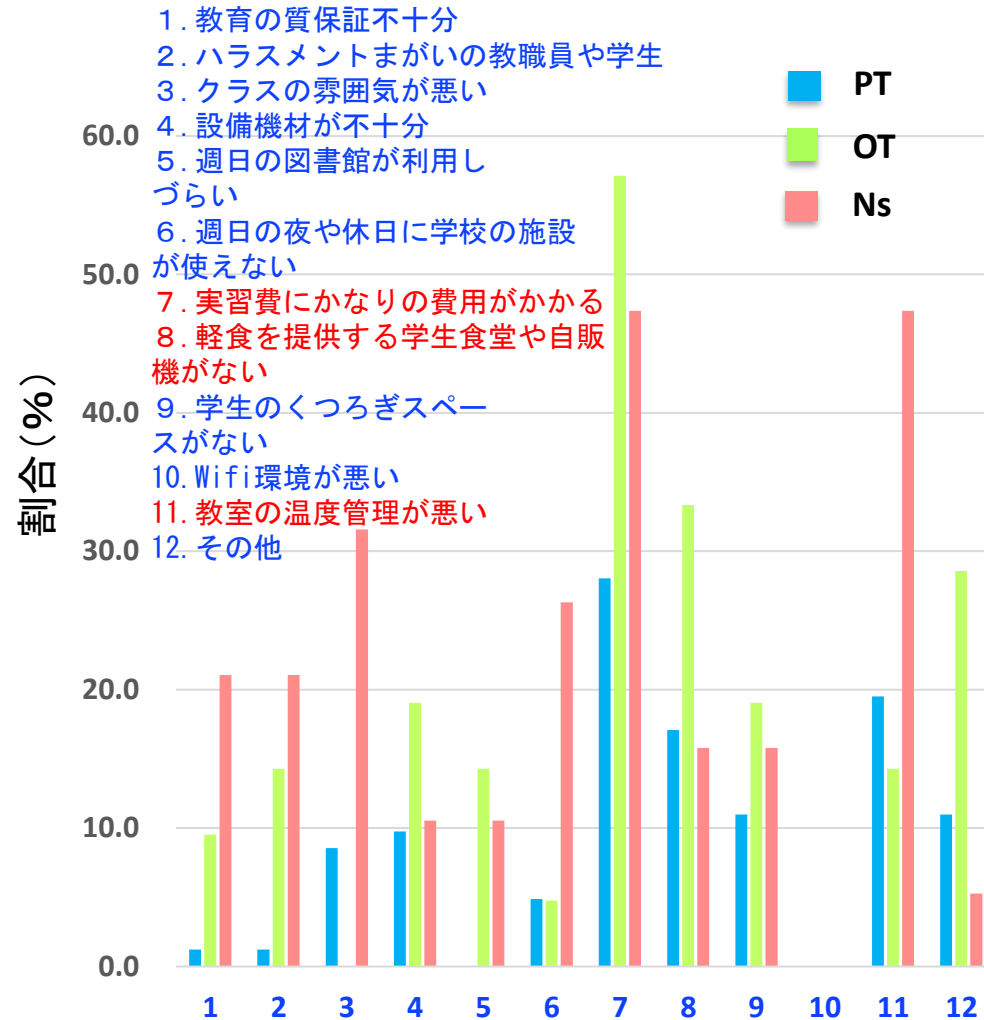
# Q10-1. 教育環境を不満と感じる原因

回答は複数選択

## 学生全体の不満の原因



## 不満原因の学科間比較



教育環境に不満を感じる原因としては、全学科で見れば7、8、11をあげる学生が多かった（左図）。学科別で見ると（右図）、PTは、7、9、11が要因であり、OTでは7、8、12が多かった。Nsでは、1～3、6、7、11が要因となっていた。

# Q 10 - 2. 教育環境に満足している理由

## PT学生

友人に恵まれたため  
最低限の設備は整っている  
スクリーンを使った授業で見やすい  
設備が充実している  
学ぶための器具がそろっている  
特に過不足なく勉強できる環境  
距離が近く相談しやすいため  
しっかり寄り添ってくれる先生がいる  
夏は暑すぎるし冬は寒すぎる  
優しい  
わかりやすい  
進級できているから  
質問したら教えてくれるから  
ゼミなど個人的に質問できるから  
いい  
掃除がしっかりされていてありがたい  
器具や様々な環境が充実している  
勉強できる環境にある  
質問に対して丁寧に教えてくれる

## OT学生

先生に聞きやすい環境であるから。  
外部講師などの充実  
アットホーム

## Ns学生

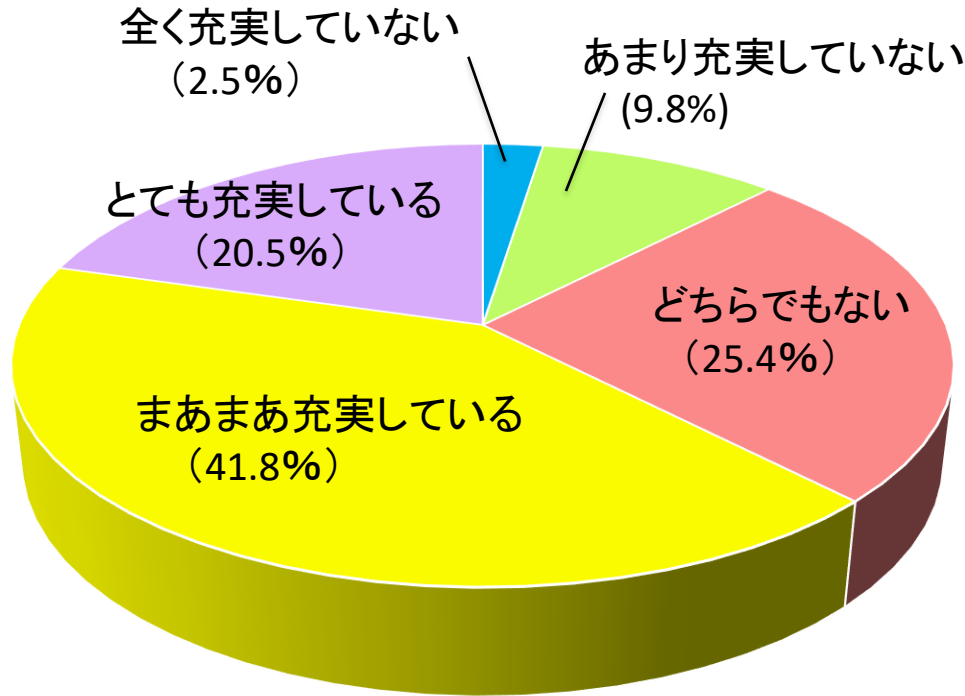
頑張りたい人はいくらでも学ぶ環境であると感じます

Q 9では、43.4%ほどの学生は「本校の教育環境に対して多少なりとも満足している」と回答した。「教育環境に不満である」と回答している学生の多くは、設備面の問題を指摘したが、「満足している」と回答した学生は「学びやすく質問しやすい教員の対応」をその理由としてあげている。すなわち、自ら積極的な学びをしている学生は、「学びやすい環境である」と感じていたと想像される。不満理由は、青字で記載されている。

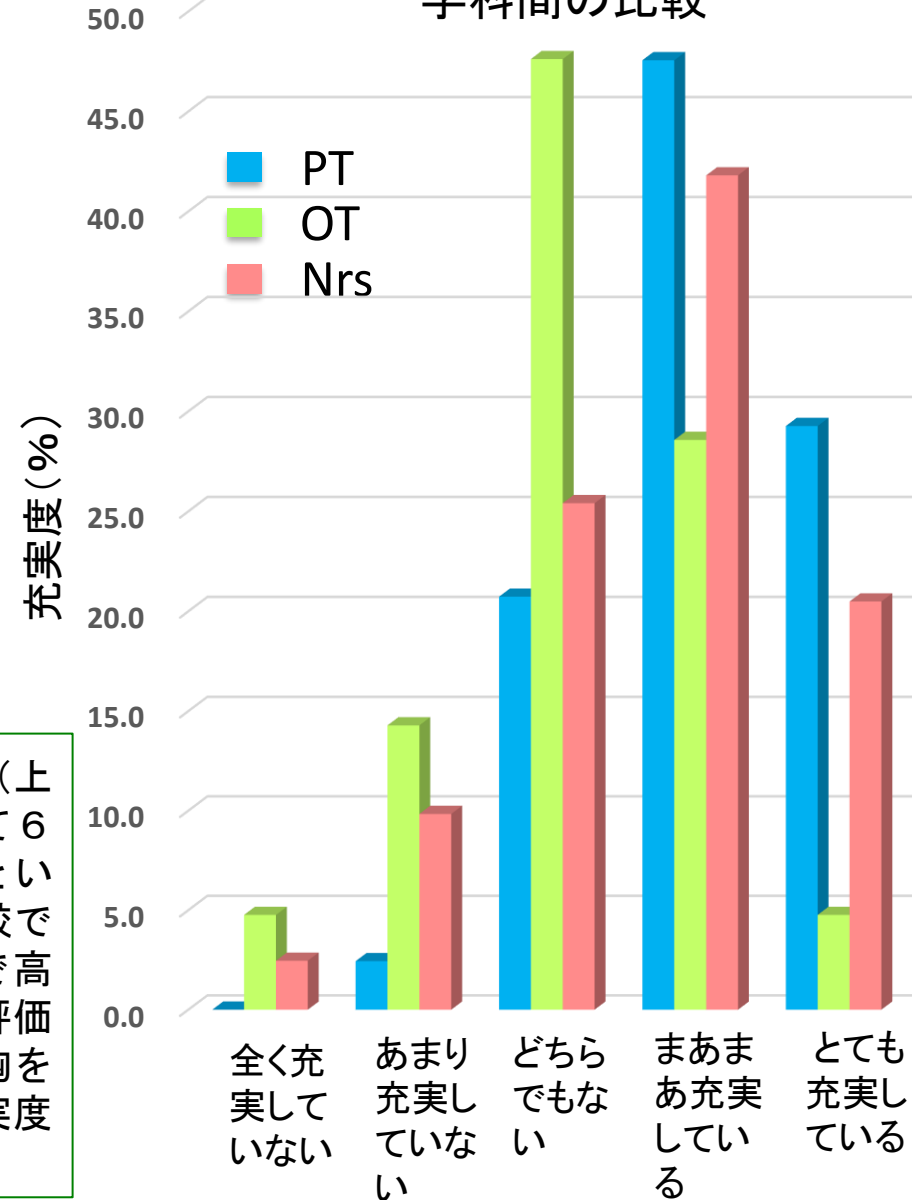


# Q 1 1. 学生生活は充実しているか

## 学生生活の充実度



## 学科間の比較

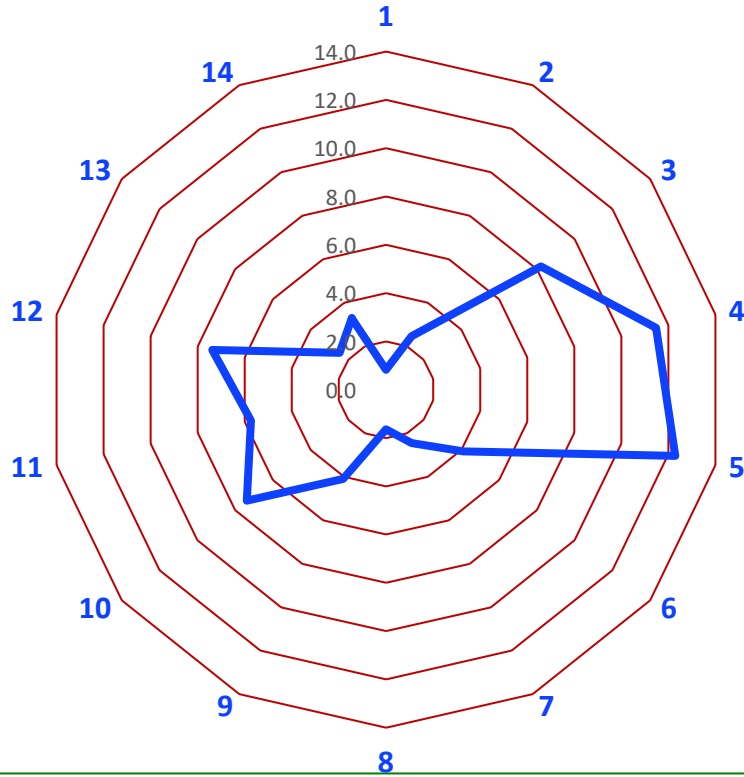


学生生活の充実度は、昨年とほぼ同じ結果であった（上図）。「とても充実」や「まあまあ充実」が合わせて62.3%であり、「多少なりとも充実していない」という回答（12.3%）を大きく上回っていた。学科間比較では、学生生活の充実度は、PT>NS>OTの順で高かった。学生生活の充実度は、総合的に学生生活を評価した結果であるため、本校としては安堵の気持ちで胸をなでおろしている。しかし、さらなる学生生活の充実度向上につながる対応と考えている。



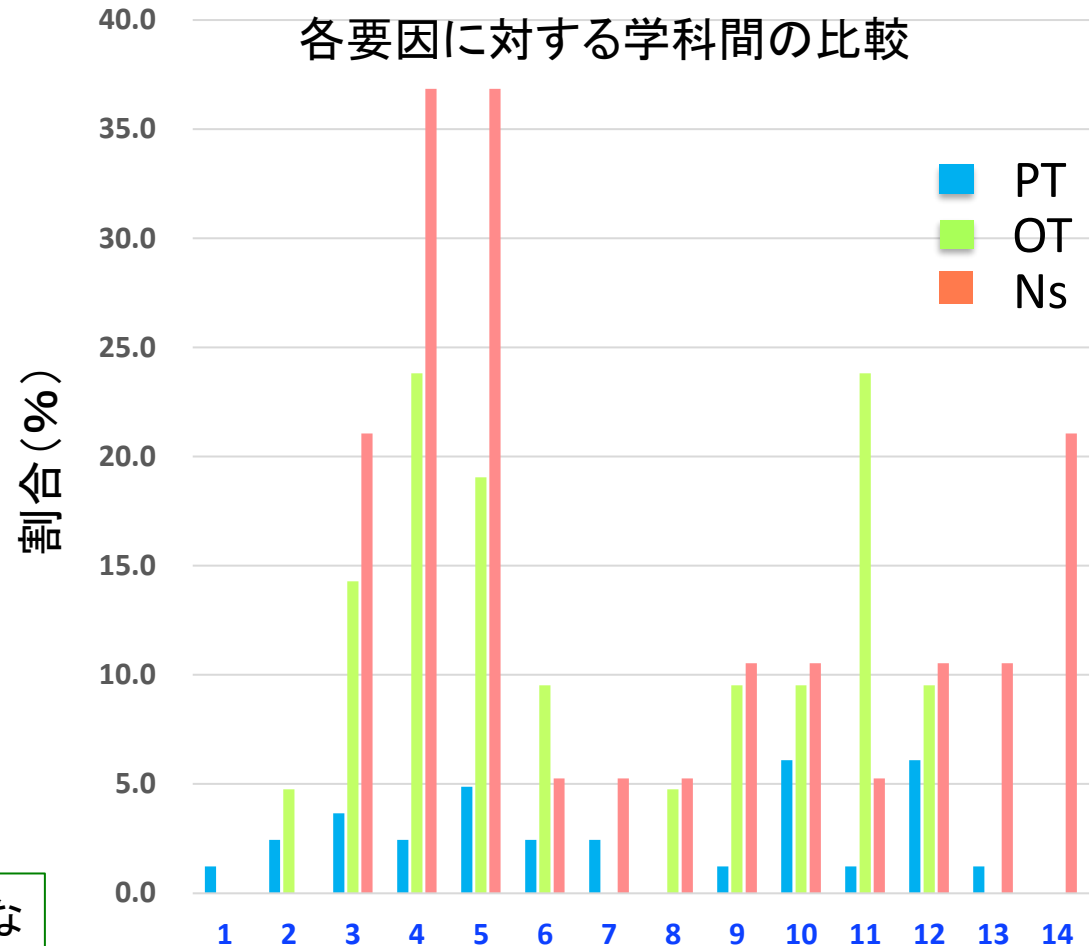
# Q 1 2 - 1. 学生生活が充実していない原因は何か

学生生活が充実していない要因



「多少なりとも学生生活が充実していない場合の原因は何か」という質問に関して、多くよせられた回答は4と5であった(上図)。学科間の比較(右図)では、OTではさらに3と11が多かった。Nsでは1と2以外の全てが選ばれていた。PTでは、概ねどの項目も少な目であった。

各要因に対する学科間の比較



1. サークルや課外活動が十分にできない
2. 交友関係が築けていない
3. 授業が理解できない焦りがある
4. **課題やレポートが多すぎる**
5. **病院実習のことで不安になる**
6. 学びたかった学習内容と異なる
7. 本校が第一志望でなかった
8. ハラスメントに悩んでいる
9. 相談できる窓口がなく、精神的につらい
10. アルバイトする時間がない
11. もっと遊びたいのに遊べない日々が続く
12. 経済的にゆとりがない
13. 三学科の交流イベントや授業が少ない
14. その他

# Q 1 2 - 2 . 学生生活が充実している理由

友達と楽しく過ごせている

友達がいるから楽しい

学習面でも生活面でも充実している

友人に恵まれたため

友達がいるから

学校が過ごしやすい空間になっているから

特に不満はないから

**PT学生** 友達と一緒にいたら楽しいため

学生生活を楽しめているから

友達もできて楽しい

友達がたくさんいるから楽しい

勉強や友達関係が充実している

友達がいるから

楽しく過ごしてる

楽しく学べているため。

人間関係が良い

先生や友達との関わりが楽しいため

スポーツできる環境が少ない

仲良くなってきてはいる

人と仲良くなれた

友達もいるし勉強仲間もいるから

楽しい

友達がいて楽しい。

友達と遊べるから。知識が増えるから

交友関係が広がる、教員とも良好なコミュニケーションをとれる

友達関係

何かあっても信頼出来る先生に相談が出来るから。

楽しい

特に可もなく不可もなく

周囲の友人や先生方がとても良い人たちであるため

クラスの雰囲気が良い。

良い友人がいる

**OT学生** 友達と勉強についても遊びについても気軽に話せるから。

毎日クラスが楽しいから

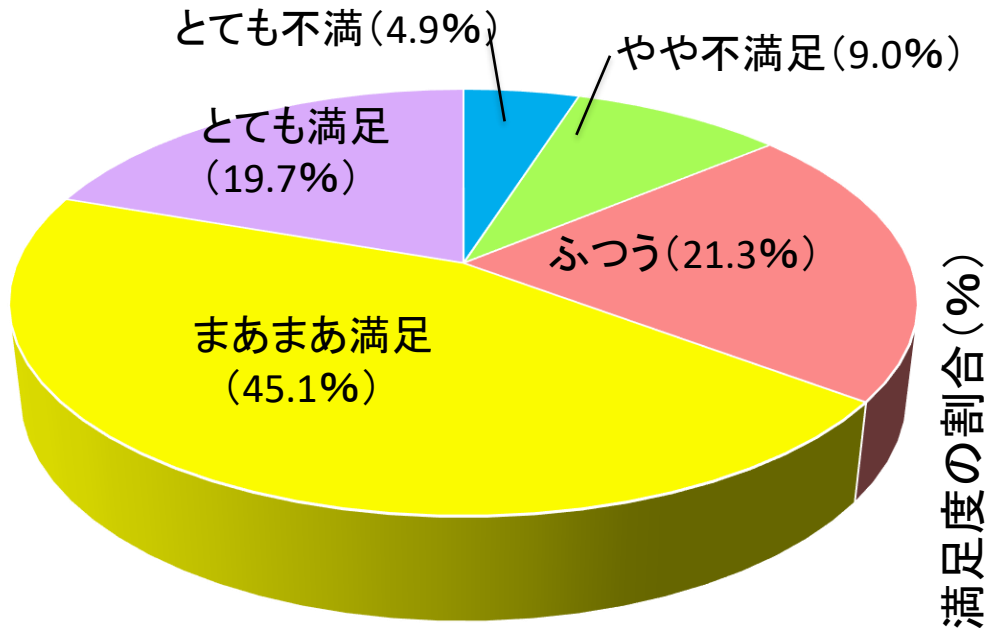
優しい人が多い

**Ns学生** 看護師の資格をとるには十二分です

Q 1 1 では学生の充実度が高いことが示されているが、Q 1 2 - 1 では充実していない学生の意見を、Q 1 2 - 2 では充実したという根拠を示してもらった。これらを精査し、更に多くの学生が充実の学生生活と感じてもらうための改善を心がけて行きたい。充実していない理由は青字で記載されている。

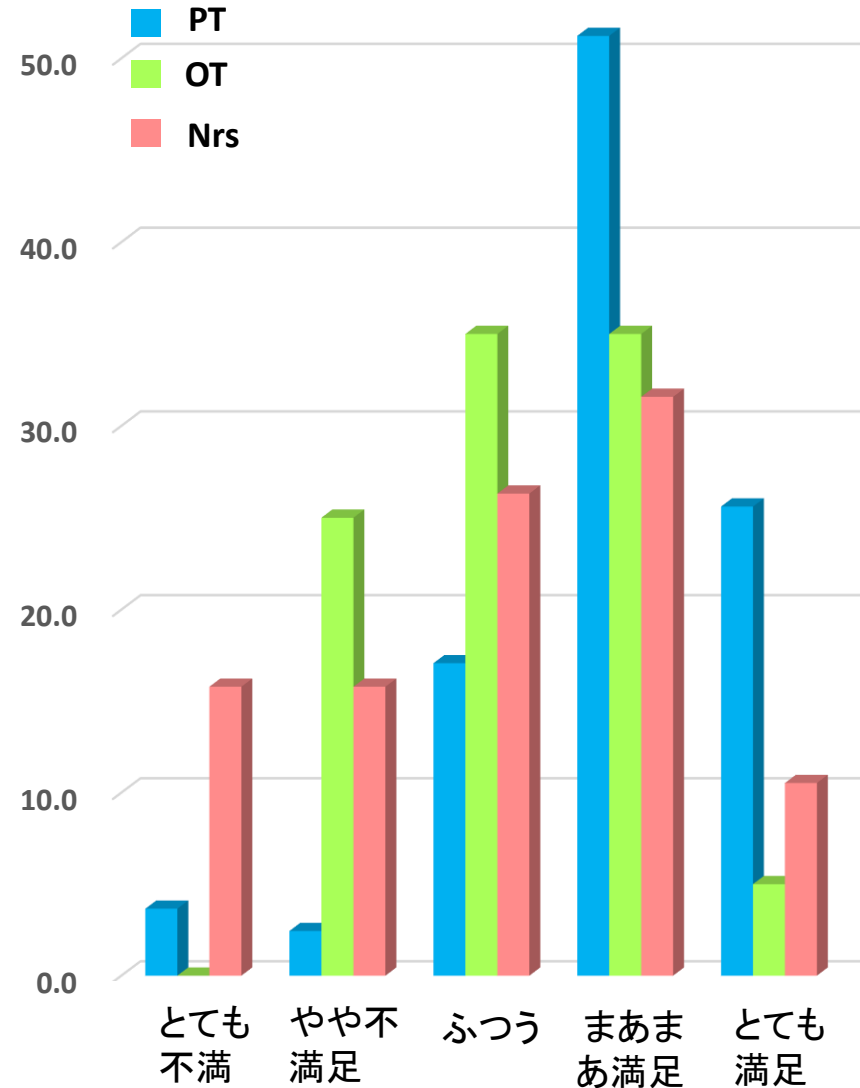
# Q 1 3 . 本校入学はどうであったか

## 学習環境に対する満足度



60.0

## 満足度の学科間比較



昨年対比でみると、「とても満足」+「まあまあ満足」の合計が21.4%増加して65%ほどになった。「ふつう」以下がその分減少した(上図)。学科間の比較(右図)でも、この傾向は3学科共通であったことから、総合的に判断すると、本校入学後の思いは「より好ましいもの」であったと判断される。多少なりとも「不満足」と回答した13.9%の学生の満足度向上に力を注ぎたいと考えている。

# Q 1 4-1 . 本校への要望・意見と回答 (P T)

## 1. 教員の対応に関して

- ・生徒によって対応を変える教員がいることや、教員の気分によって授業が雑になること、雰囲気が悪くなることがあるのを改善して欲しい
- ・生徒によって対応が違う先生がいる。
- ・勉強する知識それぞれに対して、学ぶ目的を分かりやすく教えて欲しい。それによって意欲が変わると思います。

### 1. 学校回答

- ・教員はどの学生に対しても等しく対応することが基本です。ただ、学生個別の質問、相談、あるいはなんらかの要望等には、学生個々人の状況に応じてできるだけ誠実に対応したいと考えています。ご指摘のようなことがあったということはこの学生アンケート、保護者アンケート、目安箱（改善リクエストブック）への投書、口コミ等で承知しています。その対策を学科内で話し合っただけでこれまで以上に的確に対応しているところです。今後ご意見を頂き、その都度対応してまいりたいと存じます。

## 2. カリキュラムの作成と提示に関して

- ・時間割の作り方がおかしく、とても暇な月と忙しい月があり勉強とアルバイトの両立が大変。

### 2. 学校回答

- ・昨年度からスマホを介して時間割の閲覧ができるようになりましたが、年間を通じてバランスよく配置することが本来あるべき姿と認識しております。ただ、教員側もこのシステムに精通していないところもありますし、非常勤講師の日程などが定まらず、カリキュラムを年度開始までに決定できない事情もあります。しかし、できるだけ早く、あるいは、年間の過密度をバランスよく調整することを心がけたいと考えております。

# Q 1 4-2. 本校への要望・意見と回答 (P T)

## 3. イベント関連

- ・学祭を校内も使って楽しく大きくやりたい

## 3. 学校回答

・現在でも学生さんのご希望でどんどんいろいろな企画を進めて頂きたいと願っておりますので、学生委員会の代表者といろいろなお話をして頂きたいと存じます。ゆくゆくは学生さんが自主的に企画・準備・運営などしていただけるように期待しております。

## 4. 実習費に関して

- ・実習費をもっと増やしてほしい。
- ・実習の自己負担が大きい、校内が寒い
- ・実習の自己負担が大きく、希望する実習地に行けないことを改善して欲しい

## 4. 学校回答

・コロナ禍の対策のため実習関連経費が増大してきたのは確かであり、学生さんのご負担が大きいことも存じております。実習補助費を増やしていくのが一つの対応ですが、そのような対応では学費の値上げに繋がってしまう可能性があります。本校における実習費のしようだけでなく様々な冗費を減らす総意工夫を図りながら、この問題にも年次計画的に対応してまいりたいと考えております。

## 5. 設備の管理運営

- ・駐車料金を安くして欲しい
- ・冬だけ無料みたいな制度を作って欲しい
- ・自転車置き場に屋根を設営して欲しい

# Q 1 4-3 . 本校への要望・意見と回答 ( P T )

## 5. 設備の管理運営(続き)

- ・学費をもう少し安くして欲しい
- ・トイレのウォシュレットとジェットタオルが付いていないところに新たにつけて欲しい
- ・駐車料金の値下げ
- ・冬とても寒いので暖房をもっとほしい。

## 5. 学校回答

・駐車料金、暖房の温度設定、トイレの設備、自転車置き場の屋根の設置など設備や施設管理に関しては学生目線で対応して行きたいと考え、本校でも年次計画でできるところから徐々に設備更新を進めていこうと考えております。暖房設備の温度管理に関しては授業や自己学習の状況に応じた運用をしていこうと対応しておりましたが、逆に、スイッチの消し忘れも多くありましたので、より望ましい対応を考えていこうと思っております。

## 6. 実習費を含めた諸々のこと

・実習費もっと増やして欲しい。お金を気にして希望したいところに行きづらい。ZOOM授業なら学校に来なくても家でできそう。学校遠いから。時間割詰めすぎ。忙しい時とそうでない時の差が激しい。自販機ちょっと高い。でもお弁当は全然いいと思います。立地が悪い。傘を取られた人が結構いるので傘の保管の仕方考えた方がいいです。カップラーメンや飲み物が高いです。

## 6. 学校回答

・カリキュラムの作成などや設備の管理運営のところでも一部お答えいたしましたが、できるだけ早く、しかもむらの少ないカリキュラムにしていこうと試行錯誤しております。ZOOM対応はやむを得ない場合に、ある割合で使用することは可能ですが、全てをZOOM授業にはできないルールとなっています。盗難はもつてのほかですので、対策を講じます。

# Q 1 4-4 . 本校への要望・意見と回答 (P T)

## 6. 学校回答 (続き)

・指定規則のガイドラインに従わなければならないからです。また、自販機の価格が高いとか学生食堂を設置するなどのご意見もありましたが、こちらは業者の設定ですので、本校は基本的には関わっておりません。ただ、利用しやすい出前や訪問販売などを行っている高校の状況もありますので、情報を集め、本校で対応できることを中心に導入したいと考えております。

## 6. その他

・特にありません。ありません。ない。

## 6. 学校回答

・何か出てきましたら、いつでも目安箱等に投書ください。また、直接校長や本部長にお伝えください。



# Q 1 4-5. 本校への要望・意見と回答 (O T)

## 1. 教員の対応 (その1)

・教員 A 氏 (仮称) は、事ある毎に成績不良の生徒を諭す素晴らしい教員です。少し前にあった事だと、授業の開始時に特定の個人 (私を含め 2 名) をクラスメイトがいる前で 10 分ほど挨拶を何故しなかったのか諭す事がありました。その他にも、見学先への礼状の確認をお願いした際には、「文末の言葉の理解をしていないのであれば、身の丈にあった言葉を使った方がいい」とのありがたいご指導を頂きました。他にも、他の生徒が挨拶した際には大きな声で返すのですが、挨拶の声が小さい生徒や、あまり挨拶をしない生徒には、挨拶をされないことでどのように感じるのか、挨拶を頭を下げる程度で返す、もしくは挨拶は？と聞き、挨拶を習慣づける様に立ち回る、社会人基礎力がとても身につけていると、未熟な私でも感じるほどの教員です。他にも、面談では敢えて生徒と逆の意見をぶつけ、多様な視点を育めるようにし、授業中に具合が悪そうな生徒には、無理して残り、体調を悪化させないように、少し強めに帰るよう促したりするなど、とても素敵で配慮がみられ、生徒思いな良い教員だと思いました。今後とも、A 氏の教育を推して頂きたいと思います。

### 1. 学校回答：

教育の現場において、個人の失敗や成功体験を他の学生にも学びの機会として広げたいと考えることがあります。当然ことながら人権や公平性は最低限守らなければならないものと考えます。また教員の態度や言動が学生に対して見本となるように心がけたいと思っています。

## 2. 教員対応 (その2)

・O T 学科の教員は良い先生もいればそうでない先生もいる。学生に対する態度や言動を見直した方がいいと思います。

### 2. 学校回答：

・教員の個性や特徴は尊重すべきであると考えていますが、学生に対する態度や言動は差別的、感情的、非人道的なものであってはなりません。学科内で話し合い、早急に改善いたします。



# Q 1 4-6 . 本校への要望・意見と回答（O T）

## 3. 施設

- ・ 食堂が欲しいです！

## 3. 学校回答

- ・ 同感ですが、学生数や利用頻度を勘案すると難しいです。冬季に外出が面倒な時は、学内に学生食堂、軽食コーナー、自販機、あるいは、訪問販売などで昼食を摂ることができれば幸いですが、現行の無人販売の拡大が妥当と考えます。申し訳ございません。

# Q 1 4-7. 本校への要望・意見と回答 (Ns)

## 1. 実習旅費等に関して

- ・実習先への交通費や予防接種の費用が高すぎてアルバイトを増やすしかなくなっており、かなり厳しくなってしまう。尚、実習中はアルバイトにも行けないので交通費を取られてしまうとかかなり厳しく過ごすことになってしまっています。もし出来るのであれば、多少なりとも補助があるととても助かります。
- ・見てて分かりやすいくらい教職員の格差がある。長期休み前の試験とレポート提出に追われていて実習どころじゃない。技術チェックとか何回もやる暇ない。先生方のやり方でやらないとたくさんチェックつけられて、いちいちその人に合わせんのめんどい。実習の移動費高すぎて、車もOKにしてほしい。遠くて1時間とかかかったら寝る時間も減る。単位がない授業にくる意味がわかりません。それで怒られたらもっと意味がわからないので自由参加にしてほしい。3年生と比べられるから、比べないでほしい。うちはうちらなので。もうこないからね～。

## 1. 学校回答

- ・そうですね。実習のための交通費については、既に説明済みです。また、実習先も遠方での実習を無くし、旭川市内に集約しており、極力ご負担を軽減いたしておりますので、ご理解の上ご協力をお願いいたします。また、実習に関わる教員間の連携が十分でないとのことご指摘ですが、学生に不利益が生じないように対応を強化してまいりたいと存じます

# Q 1 4-8 . 本校への要望・意見と回答 (Ns)

## 2. 教員間の連携やハラスメントについて

・ 実習に行っていない先生が実習の評価をしていて意味がわかりません。先生方の報連相ができていない。先生方のいじめが見てわかるくらい目立っている。実習先をせめて住んでる近くに割り当ててほしい。バスがない。単位がない授業を先生がつかないであってもみんな自己学習やらないと思う。高額な学費払っているが実習の移動費ぐらい少しは補ってほしい。

・ 一部の権力がある教職員がそうではない教職員をいじめているように感じる。欠席の連絡や前日などに理由を伝えても何度も細かく聞いてきてプライバシーの侵害。学内で課題があるのはありがたいが、提出までの期限が短かく感じる。実習期間車が使えないのとても不便。それなら実習移動費を学費と一緒に請求して、支給して欲しいです。単位が無い授業で出席させる意味が分かりません。単位がないなら自由参加にすれば良いと思うが、後日教務室に呼び出され、怒られる意味が分からない。

・ 誰もがみてわかる先生同士のハラスメントが酷い。実習の移動費の自分持ちなのが学生からしたらきつい。3年生と比べるのをやめて欲しい。課題を出してくれるのはありがたいけど期限が短すぎる、1人の先生は男性が好きなのか実習の時にその人には何も言わないで自分たちだけに言う人がいた。

## 2. 学校回答 :

・ 実習のための交通費、指導の統一性、教員間の連携、ハラスメントなどを感じる状況を御指摘いただきました。実習に関しては学生の皆さんの視点で、改善すべきところは一つ一つ改善してまいります。また、教員間の連携や教員同士でのハラスメントなどについては再度関係者に状況をヒアリングし、しかるべき対策を講じたいと考えております。

# Q 1 4-9 . 本校への要望・意見と回答 (Ns)

## 3. 教員の対応等

実習等の評価とは別に、性格なども含めて生徒のことを評価し、コミュニケーションが苦手な生徒に対して「なんで看護師目指そうとしたの？絶対自分なら目指さない」といった発言をその生徒の目の前でしたり、先生的には笑いを交えながら言っているから大丈夫かなと思っているのかもしれませんが、言っている内容はとてもひどいことであるし、「〇〇は2年後に、患者からクレーム入れられて辞めそう、〇〇は職員との関係が上手くいなくて〇年で辞めそう」と笑いながら言っていたりと、看護師を目指している生徒に対して学校生活や実習での様子を見て判断したとしても、そんなこと言うのは酷いと思います。性格を判断してその人本人に「〇〇はこういう性格でしょ～」等と言っていますが、先生が見るのは表面上の性格だけで、全ての性格を分かっていないのに分かっていると思って評価していること、また、私たちの性格は親が関係しているといい、会ったことも話したこともない親の悪口までいうのは許せなかったです。確かに、今まで生きてきた中で性格などは決まってくるため、親も関係してはいますが、ここまで育ててくれた親に対して先生という教育をする立場の人、ましては子供が居る立場でもあるのにそういうことを言うのはどうかと思います。私たちのことを考えてくれるのは話を聞いていて分かるし、国試の対策等もしてくれているので分かりますが、いい歳した大人がそういった態度をするのはどうかと思います。また、実習に対して、「12回生とは本気の実習したけど、15回生とは本気の実習してないと」言う発言も、本気で実習をしている生徒達に対してどうかなと思います。今は常勤ではなくなり、たまに来ていますが、実習中生徒に対して、患者でのケアで違ったことがあれば、後ろから足でつんつん蹴ってきたり、考えを言ったら最後までは聞いてくれますが「言っていることが意味わかんない」と拒否をしてきたり、老年や小児の実習では対象者が全然違うし、先生は慣れているかもしれませんが、生徒からしたら慣れてもいない小児患者とのコミュニケーションで「実習なんてどれも同じだよなんで分かんなくなるの」と生徒の気持ちにも寄り添わないで拒否してくるのはほんとにどうかと思います。他の学校と比べたら実習も緩いのかと思いますが、それにしても生徒のことを拒否したりするのは、先生として1番ダメなことではないでしょうか。

# Q 1 4-1 0 . 本校への要望・意見と回答 (Ns)

## 3. 教員の対応等 (続き)

もう3年生なので、実習にも行かないですが、これからの下の学年達にこういった思いをしてほしくないの、少しでも良くなることを願います。ここまで酷いことを言ってしまいました、私たち生徒のことを考えてくれるのは本当にありがたいことです。時には優しく、時には厳しいこともあるのは世の中では普通ではあるので、それはいいかと思えます。何かあったら心配してくれる先生もいますし、実習で何か嫌なことがあれば、学校に戻ってきて相談を聞いてくれる先生もいます。それはほんとうにありがたいことです！いつもありがとうございます！あと、学費についてですが、3年生は授業がほとんどなく、実習ばかりなので、授業料が1・2年生より少し安くなると嬉しかったです。あとホールにあるカップラーメン自販機、直ぐになくなってしまったので、補充回数を増やしたり、もう1台自販機を置いたりしてもいいかと思えます。あと少し言えば、維持費も大変かと思えますが値段を下げてもらうと生徒としてはありがたいです！！！！

## 3. 学校回答

詳細にご意見を記載していただき、感謝いたしております。教員の言葉や対応によって、つらい思いや不快であったことがありました。ご指摘のあった事柄については、教員に確認を行い改めるように伝えております。また、学科内教員でも共有し、同様の事例が起こらないように対応して参ります。

自販機に関して、出入りの業者に直接ご意見やご要望をしていただけるように、メモを自販機に貼り付けるとか、ご要望箱を用意して皆さんのお気持ちを伝えていただければと存じます。商品の種類価格に関してはこれまでも少しつつありますが、意見を考慮していただいておりますから。

# Q 1 4-1 1. 本校への要望・意見と回答 (Ns)

## 4. カラーコピー機

- ・授業で事例などをやってアセスメントなどの訂正したプリントを提出するためにカラーコピーできるようにして欲しいです。

## 4. 学校回答

- ・ご要望はよくわかりました。現在、有料のコピー機はありますが、訂正箇所を確認ができるように無料のカラーコピー機を要望していることと思われます。他校の現状を調べておりますが、やはり本校と同じような対応が多いようです。引き続き検討課題とさせていただきます。

# アンケートご協力に対するお礼

令和6年度の学生アンケートは、在学生の50%ほどの回収率であり、昨年度より10%ほどアップしました。年末のご多忙の中でご協力頂きました学生の皆さんには心よりお礼申し上げます。ただ、今年度回答の内訳に注目しますと、看護学科の回収率が昨年度の半分ほどであり、全体の60%が理学療法学科学生の意見となっています。

アンケートの回収率が高くなるとその学科全体の意見に近くなりますが、逆に低下した場合は、一部分の学生の意見が強くなり、必ずしも学科全体の意見をバランスよく反映していないこととなります。

このような傾向が含まれていますが、例年のように、皆さんから頂いたアンケート結果を取りまとめました。それらに基づきながら、今後は、皆さんの学生生活がより充実したものになるように様々な対応や工夫を進めていこうと思っております。教育については、「わかりやすい授業の展開」や「学科間の垣根を超えた交流を深める」をさらに充実させていきたいと考えています。

本アンケート結果をまとめてみたところ、昨年度より改善している手応えを感じられるだけでなく、教育の成果にも現れ始めていることが実感されます。

学生の皆さんから頂いたその他多くのご意見は、毎年、本校の教育活動を全般的に望ましいものに高めていく上で必要不可欠なものです。できることから対応しておりますが、今後も、忌憚のないご意見やご要望をお寄せ頂きたく、心からお願い申し上げます。

令和7年2月28日

学校法人稲積学園  
北都保健福祉専門学校  
理事長 稲積実佳子  
副理事長 稲積 慧  
校長 林 要喜知  
本部長 開田 仁司